

理工 同窓会 だより

理工同窓会の 活性化



理工同窓会会長
清水 正義
(理・土木・S44年卒)

ア メリカのサブプライムローン問題に端を発した世界経済の減速や、

原油や穀物などの高騰が私たちの生活に直接影響する国際化の中で、理工同窓生の皆様いかがお過ごしでしょうか。私が理工同窓会長をおおせつかつてもう一年半が経過しました。私の役割は、理工学部のおよそ六万名にも及ぶ卒業生の連携の和を如何に広げるかであるかと心得ています。しかし、現状の理工同窓会が抱える課題にどのように対応するかは簡単ではないと思っております。

理工同窓会は現在九学科からなり、

それぞれの学科に同窓会があり、毎年十一月から翌年の二月にかけて各学科同窓会による情報交換会が行なわれています。これら各学科の同窓会を束ねる理工同窓会は、例年九月に総会を開き総会終了後懇親会を行なっていますが、参加者の多くは同窓会幹事です。また、幹事の多くは高齢者であり若い人の参加が少ないという悩みがあります。同窓会に対する若い人の思いがない、仕事の関係で動けないということも事実かもしれませんが、このような課題は、高齢化が進展したわが国では、どのような組織であれ少なからず抱えています。

要は、幹事の同窓会活動に取り組む前向きな気概と情熱が若い幹事を引きつけ、同窓会を活性化させる原動力ではないように思います。

同窓とは、卒業生をさしますが同窓会は、母校・恩師と卒業生の関係で成り立ちます。卒業生は自分たちが卒業した当時の母校への思い出よりも、現在の名城大学に対する繋がりの中で母校を見ています。

特に、私立大学の卒業生は国公立と比較し、大人数の中で教育を受け卒業しています。このため卒業後の大学・先生との繋がりは細くなりがちです。しかし、卒業生の多くは大学・教員との接点を確認できることを期待していることも事実です。こうした点を同窓会がカバーすることができれば同窓会と卒業生・大学とのより太いパイプを築くことが出来ると思えます。

こうしたことを考えると、同窓会活動に現在の教員が参画することは必須条件であると思えます。

今、こうしたことを踏まえこれからの理工同窓会の活性化を計る上では次の課題があります。

- 一、同窓会の組織づくり
- 二、大学との連携
- 三、同窓会としての情報発信
- 四、校友会との連携

これら課題の中で、

一番目の、同窓会組織づくりにおいては、幹事に卒業年次別の幹事と役割に対応した活動組織を創ることが必要です。既に、建築同窓会ではこれに近い取り組みが行なわれており、理工同窓会の中でも最も組織化された同窓会と成っています。理工及び各学科同窓会としても卒年次幹事を含む同窓会組織へ衣替えが必要となる時期に来ていると思えます。

二番目については、理工同窓会及び各学科同窓会の中に全ての旧・新教員にお入りいただき同窓会運営に参加いただくことが重要と考えられます。

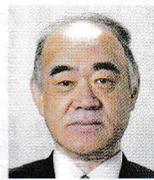
現在、理工同窓会幹事会では学部長及び全学科長同席による情報交換会を実施し、相互の信頼関係の構築と併せて、全教員参加型の理工同窓会への改善を図る取り組みを始めています。こうした取り組みの中で、両者がステークホルダーとしての役割を認識し、大学の発展に貢献していきたいと考えています。

三番目の活動である情報の受発信が無ければ同窓生との繋がりは拡大しま

せん。このための方策の一つが、ホームページの構築です。一昨年立ち上げることを公言しながら、未だに進展が無いことについては、力不足の一語と申し上げるしかございませんが、出来るだけ早期の立ち上げに努力し、少しでも多く情報を同窓生に提供することが我々の役割と考えています。また、校友会報の充実も重要です。単なる催し物の案内ではなく、大学、同窓生の鼓動が伝わる記事を載せることが必要だと思っております。同時に、各学科同窓会の情報交流会等を利用し会員同士のチャンネルを活性化させることも重要だと思えます。

四番目の校友会との連携においては、各同窓会と校友会との活動の役割分担と予算配分の問題が解決すべき大きな課題として存在していると思えます。現在の名城大学卒業生は、約一六万人といえども、この内どれだけの人たちが校友会費を払い、校友会・大学に目を向けているかということを考えることが必要です。また、卒業生で校友会費を払っている人は極めて少ないが、こうした人の中には、母校に対する期待の中で会費を払っている人も多いためです。換言すれば大学と校友会は表裏一体だということです。理事長、学長が意図するステークホルダーとなるためには、大学自体も各同窓会に対して名城大学の人的資源を戦略的に提供し卒業生に対する求心力をつくることも必要であると思っております。

理工学部の 近況報告



名城大学理工学部長

江上 登

理 工同窓会の皆様には、ご健勝で、ご活躍のこととお喜び申し上げます。また、平素より理工学部の発展のためにご支援・ご協力をいただいておりますことを、厚くお礼申し上げます。

さて、校友会報(理工同窓会だより)の発刊に際しまして、理工学部の近況を皆様にご報告を申し上げたいと存じます。

ご承知のように、18歳人口は激減しており、昭和40年代前半には約240万人であったのが、現在では110万台となっております。まさに、半減以下の状態であります。さらに、理工系離れが顕著となり、いまや全国の理工系大学、学部は危機的状況にあるといっても過言ではありません。そんな中で、理工学部の志願者は入試形態の変更があったことと並行しながら、2008年度の入学試験では推薦入試の志願者を含めて13000名を確保することができました。近隣の工科

系大学・学部の受験生が激減する中で、健闘しているといえます。しかしながら、来年、再来年にもこの数字を維持できる保障はありません。したがって、理工学部は、理工学部の将来を見据えて学部再編・改組の検討に取り組んでおります。この検討委員会には現理工同窓会会長と前同窓会会長にも委員として加わっていただき、同窓生の立場からご意見をいただいております。形が固まってききましたら同窓生の皆様にお知らせする機会があるものと思っております。

次に、以前は卒業生教員が多くおりました関係で、各会の学内役員はほとんどの学科が卒業生教員から選出していました。しかしながら、卒業生教員の退職、高齢化とともに、他大学出身者が多くを占めてまいりました。現状では、もはや以前のような取り組みはできない状況になってまいりました。顧みると、各会の草創期には各学科の教授を中心に発足・発展していることを思うと、理工学部の教員は卒業生や他大学出身といったことにとらわれることなく、理工同窓会や各会同窓会との絆を強固にしていかなければならないといえます。このことにつきましましては、理工同窓会役員と各学科の学科長の話し合いの結果、大学を取り巻くステークホルダーの観点からも、今後は、各会の学内役員に他大学出身の教員にもご協力をいただき、各会およ

び同窓会の発展に協力していくことで意見が一致しました。

さらに、もう一点は、理工学部教授会の承認のもとに、平成20年2月23日に名城大学技術士会が発足しました。卒業生による技術士が結集して個々のポテンシャルを高めることはもちろんのこと、JABEEとの関わりで、理工学部の教育に対して何らかの形で支援をしていく組織であります。当面は理工学部に事務局を置くこととなりますが、将来は大学に認知いただき、大学公認の組織として立ち上げていく性格の組織ではないかと考えています。同窓生の方で技術士の資格をお持ちで、まだ名城大学技術士会のご連絡をいただかない方は理工学部までご連絡をいただきたいと思います。

以上、3点、理工学部を取り巻く話題についてご紹介を申し上げました。その他にも、理工学部はこれからの学部教育は学士課程教育にしたがって、教育に軸足を置いて取り組むべく、教育に関する外部資金(平成20年度質の高い大学教育推進プログラム「教育G P: Good Practice」)、平成20年度私立大学経常経費補助金特別補助、平成20年度大学院教育改革支援プログラムなど)にも申請するなど積極的に教育改革に取り組んでまいります。教育改革に対する中心的組織としては、理工学部に理工学部教

育推進センターを設置し、教育改革の拠点として活動を展開しております。もちろん、研究面におきましても、各教員が活発に活動を展開しております。研究に関する外部資金の獲得も活発であり、平成19年度、建設系で申請したハイテクリサーチセンター(代表:建設システム工学専攻、宇佐美勉教授)が採択されて、活発な活動を展開しております。また、科研費につきましても積極的に申請をしておりますし、私立大学・大学院等教育研究装置施設整備補助金(大型装置)や私立大学等研究設備等補助金(私大研)にも毎年積極的に申請をしているところでもあります。

また、新聞等でご存知のことと思いますが、本学理工学研究科の飯島澄男先生がノーベル賞に一番近い日本人として紹介されており、最近では第1回カヴリ賞(ナノ科学部門:カヴリ財団とノルウェー教育研究省、ノルウェー科学人文アカデミーの共同事業)、2008年度アストゥリアス皇太子賞(科学技術研究部門:スペイン、アストゥリアス皇太子財団)を受賞しております。

いずれにしましても、今、理工学部は大きく変わろうとしています。理工同窓会の皆様には、今後とも、理工学部の発展のために温かいご支援をいただけますことをお願い申し上げます。ご報告とさせていただきます。

各

国

雑感



富士精工株式会社
代表取締役社長
森 誠
(理・機械・S46年卒)

理工同窓会会長から、大変難しい執筆の依頼を受けました。同窓会員が「読んで楽しめる記事を書いて欲しい。無論私はプロの書き手ではありません。何がおもしろいのか？ 楽しいのか？ 専門（技術的に）がいいのか笑い話が良いのか結局私はそれは読者の判断であり、私の責任では無いと思ひ、過去経験した事を小話的に纏めてみました。

初めに、当社の仕事の内容を説明いたします。自動車部品製造用の切削工具の設計・製作をしています。従いまして、お客様は全自動車メーカーさんとその部品を供給されているメーカーさんです。売上63%がトヨタとトヨタグループさんです。

工場は日本国内は本社（豊田市）、熊本、鹿児島、海外は韓国・USA・オーストラリア・タイ・中国（大連・広州・長春）・インドネシア・ポーランドにあります。日本と合わせた従業員数は約

17000名です。

第1話は、サービスの違いについてお話ししたいと思います。

日本でサービスと言いますと、最近はおちよつと違つてきましたが、無料（タダ）の意味が強いのと思います。私どもの仕事におきましても、お客様との打合せをした後図面化をいたしますが、その代金が請求出来ない慣習があり、賃金の高い日本での図面化を避け中国・インドネシアにて書いていただいています。

ところがUSAでは合見積の時に見積と同時に図面も提出し、受注が決まれば図面代がいただけます。驚きでしたが、現在は日系企業向が非常に多くあります。

しかし、いまでもUSAで変わらないうのは、レストランにて注文する時、そのテーブルの担当者が決まつており別の担当者に追加注文をしても受けつけてくれません。当初その事を知らない、言葉もままならない時でしたので、アメリカはサービスの国であると聞いていたのに実際は何だ!! と思ひましたが、事情を知りますと、確かに担当者全てが全ての料理を選び、コーヒー等のおかわりは良いか、食事はおいしいかオーダーは全て来ているか、どこから来たのか、色々チェックが入ります。私のお客様を満足させる、そしてチップを受け取る。本当の意味でのサービスと思ひました。

中国での体験はエッ! と思ひました。現在は明白に違つて来ましたが5年前程前中国国内にて飛行機に乗った時、機内食事が出ましたが、折り悪く(。)

窓側の席でした。スチュワーデスさんから受け取るうと手を出した所に、何とか飛んで来ました。

中国政府はオリンピックの開催が決定期サービスに対し徹底的に力を入れています。現在でも続いています。入国あるいは出国時の審査官の態度並びに処理はどうか、旅行者に判定させています。サービスとは違いますが、私共の工場においても自分の作業方法を優先する傾向が強く、品質不良が出た場合、作業指導（勿論作業要領書はあります。）が難しい状況です。でも自己主張が強い面、なぜ、なぜを根気よく続ければ素晴らしい力になってゆくと確信しています。

第2話は、メンテナンステナンスについてです。1984年8月に初めて韓国を訪問しました。カルチャーショックもありましたが、私はもともといなか育ち。真夏の砂ほこり、田園風景。小学生時代に戻った気分になりました。

お客様と夜食事に出かけましたが街灯は勿論なく、お店の照明も暗く歩道を歩いても足元が見えない状況でした。ただ通行人は非常に多く、皆さん普通に歩いていましたが、私は何度もつまづいたり、あるときは穴に入ったのではないかと思われました。食事の時にこの事を質問したら、「修理して維持する。韓国ではまだ出来ていません。日本との国力の違いがここに出ています。」と言われました。

1994年に中国 大連市へ合併の話し合いに行きましたが、韓国同様まったく修理をする感覚がないと思われしました。

しかし韓国は1988年のオリンピック

クまでに完全に変化しましたし、大連市は5年前までに見違える程きれいな町に変貌しました。

やはり国力がつかないとメンテナン

スにお金が回らないのでしょうか。今重大な問題が起こっています。橋です。橋のメンテナンスがされていません。USAでも起こっています。先進国では技術での慢心が基になっています。国の基本も新設物件に対しては補助が出ますが、修理には補助ができません。

我々技術屋としての声を大にしてメンテナンステナンスの重要性を訴えねばなりません。

おまけですが、韓国・中国でこんな事がありました。階段での最初か最後の段が他の段に対して低かったり高かったりしています。本当に危ない事態です。日本語に「帳尻を合わせる」という言葉がありますがそのとおり。業者に文句を言わないのか階段の段数があっているから良いのか。韓国・中国へ行かれた時は注意して下さい。

とりとめの話でしたが、お時間をいただきましたありがとうございます。国々によって違いがありますが、各国共通なのは、自分の国を愛する心です。私も派遣する人材は、日本の国を愛する人を選定して出す事を心掛けています。心と心のコミュニケーション、派遣された国の人の気持ちになつていただきたいと思うからです。

ありがたい事に、名城大OBが5名当社の海外工場で活躍していただいております事を付け加え、終りにしたいと思います。

毎日

勉強



名古屋大学大学院在学
飯島 祐樹
(理・材料機能・H20年卒)

皆様はじめまして。現在、次期材料会会長として材料会を取り仕切っております。飯島祐樹と申します。材料機能工学科は平成12年に設置されたばかりの比較的新しい学科で、その同窓会組織である材料会もまた、今年度創立5周年を迎えるという非常に若い組織です。そのためか、まだ組織の骨組みが完成されておらず、同学科の先生方の協力を以て、なんとか今まで会の体裁を保っているという状況でした。そういった状況で先代とバトンタッチし、次期会長という任を任された今、一刻も早く、一つの同窓会として、同窓生による一組織として、成熟し独立した材料会を育てていきたいと考え、及ばずながら尽力し始めたところでです。

私は、名城大学理工学部材料機能工学科を卒業し、成塚・丸山研究室において卒業研究に着手した際の素材であるカーボンナノチューブの研究を、名

古屋理学研究科の篠原研究室に籍を移した現在でも続けております。カーボンナノチューブは、名城大学が世界に誇る飯島澄男教授が1991年に発見された物質で、未だ基礎研究の域を出ない新しい素材です。飯島教授はノーベル賞受賞に最も近いとされる人物の一人で、カーボンナノチューブ研究の分野において最も有名な人物です。皆様も、名城大学に関わる人間の一人として、おそらく一度は耳にしていることと思います。また面白いことに、まったくの偶然ではありますが、飯島という姓が自身と同じということもあり、この分野の研究者との交流の際には、名前を覚えていて頂けることが非常に多く、また初対面の研究者とも、この名前の話題で盛り上がる事ができるので、特に英語圏の人間との会話の出だしとして重宝しています。

私の場合、大学院に進学するに際して研究室を変えたのですが、それにより色々苦労することがありました。まず、当たり前ですが研究室のメンバーが変わったこと、実験装置の使用方法を一から勉強し直さなくてはいけないこと、大学内のどこに何があるのかをゼロから知ることなどです。これらの変化にも、最近ようやく慣れてきたのですが、引き続き自身を悩ませるのが、所属研究室が化学科に属している関係で、修了要件の中の必修単位として必要な化学系の大学院講義です。学部時代には物理を中心に勉強してきたため、講義中に出てくる専門用語の半分は新出単語です。板書内容(黒板に書かれる内容)はともかく、先生の口頭内容はほとんど理解できていません。また

学部レベルの知識を前提とするがために、基礎ができていない私にとって逐次出題される課題の全てが、多くの自主学习を伴わないと解けないレベルのものになってしまっています。その結果、たくさん時間が奪われ、実験に明け暮れる毎日というよりは、課題に追われる毎日という表現の方が的を射ているのではないかと、とも思える毎日を過ごすことになっていきます。朝は九時前には研究室に到着し、日付が変わる頃に帰る毎日はとても大変で、一刻も早くこの生活に慣れ、無駄を省き、本格的に実験を始め、持続可能な研究生活を実現させたいと考えています。ただ毎日が非常に有意義で、日々何かを得られ、自身が確実に成長しているという実感はあるので、とても楽しんで毎日を過ごしています。

しかし、よく考えてみれば、これは多くの同級生と同じ悩みなのかな、とも思います。私は大学院に進学しましたが、多くの同級生は就職し、社会人として働き始めました。新しい環境に慣れ、新しい人間関係を形成し、大学では学んでいないまったく新しい知識を吸収する毎日。これらは、環境が変わるといふことについて回る、どうしても避けて通れない悩みであるとも考えられます。もつと言えは、加えてそこに社会的責任を伴うとなると、学生身分である自身とは比べ物にならないほど、緊張感に満ちた生活であると思像します。学生身分に甘んじて、弱音を吐いている場合ではない気がしてきます。どんな環境においても、基本的な悩みは同じなのかもしれません。一般論として、どんな分野に進んだ

としても、毎日が勉強であることに変わりはないでしょう。はじめは、自分の選んだ新しい環境に慣れるのに一杯でしょうし、少しずつ慣れてきたら、次は本格的に先輩からモノを教わるでしょう。教わる側の姿勢も、重要だと思えます。高校・大学で、部活やアルバイトを通して教える側を経験していれば、そろそろ教えられる側の理想の姿勢というのも理解できています。教えられたことを吸収し、咀嚼し、自分の糧としたら、今度は自身自身で答えを出すことを要求されるでしょう。それにも慣れてきた頃には、先輩に教える立場になっているはずで、他人に物事を教えるということは、本当に物事を理解していないとできないものだと思います。また教えることによって、自分もより成長するでしょう。想像ですが、自分が教えた者たちになっても、まだ学ぶことは残されているのではないのでしょうか。いつまでも、その時々に必要なことを学んでいく姿勢は、絶対に必要なものであると確信しています。

名城大学には、既に数多くの先輩がいらっしゃいますが、今まで多くの知恵を提供して頂いてきました。これからは、ただそれを期待するだけでなく、今度は自分自身が、若い先輩として、名城大学OBの一員として、後輩に何かを与えられたらと思います。

『名城大学』

技術士会』発足

名城大学技術士会
常任顧問

清水 正義

今年の2月、わが国の大学では14番目、中部地域として最初となる「名城大学技術士会」が立ち上がりました。立ち上げにおいては、理工学部長を始めとする大学関係者、教職員の方々のご理解を頂き、「名城大学技術士会」なる名称をいただいたことは関係者の一人として感謝しているとともに、今後の「名城大学技術士会」発展に対する大きな責任を感じています。今後、「名城大学技術士会」が継続して発展していくためには、卒業生技術士の参画と合わせ、より多くの卒業生が今から技術士となり、当技術士会に参加してくれることが必要です。

現在、技術士の資格部門は二十部門あり、名城大学理工学部卒業生の専門分野は全てカバーされています。また、農学部、薬学部卒業生の中にも技術士を取得した人たちが出ています。

技術士に対する社会のニーズは専門分野により多少異なりますがプロフェショナルエンジニアとしての位置付は変わるものではないと思います。

技術士になるとプロフェショナルエンジニアであるとの誇りが湧いてきます。この誇りが明日の自分の活力になります。同時に、社会的な評価を受け活躍の場や機会が広がる事も事実です。一人でも多くの卒業生に技術士取得の支援をし、多くの卒業生技術士が社会で活躍することが、「名城大学技術士会」の存在価値を高

め、同時に名城大学の名声を高めることになると考えています。

また、実社会における経験工学を大学に還元出来る組織としての位置付けも今後重要となってくると思います。

技術士試験は難しくない

技術士試験は、実務に対して遭遇するさまざまな技術課題に対して、専門とする科学技術における応用能力を生かし、従来の手法や基準どおりでは解決できない課題を、実務的に解決する能力があるか否かを問う試験です。

一見難しく思えますが、ここで求められている技術的な課題は、大規模プロジェクトや高度な技術レベルだけを対象としているのではなく一般的な実務における課題の解決能力が対象です。

現在、実務に取り組んでいる技術者は、学歴や技術士資格を持つ、持たないに関係なく、日々の仕事において、様々な技術課題に的確に対応し仕事をこなす能力を持ってしている人たちは多いと思います。これらの人たちが技術士になる(受かる)か、ならないかは、本人の認識、即ち、技術士資格を取ろうと思う気持ちだけでしかないと言ふことです。勿論、受験をするという事は、少なくとも今までにない勉強は強いられます。通常では読み慣れない関連白書や関連する新聞記事等を選んで通読しません。しかし、本気で取り組もうと思うと、こうした記事におのずから目が向きます。今まで関心を持たなかった中に、新しい関心事が芽生え、現在自分が身を置いている社会の動向などが鮮明に見えて来ます。自分の置かれている社会環境を見直すきっかけになる楽しみを味わうことも出来ます。要は、前向きに考えるがどうかの決断だ

けの事です。

卒業生技術士の方々及びこれから技術士補・技術士に挑戦しようとしておられる方々は、是非とも名城大学技術士会に連絡いただきたいと思っています。

そして、名城大学発展のためにも一人でも多くの卒業生に技術士になっていただきたいと思っています。

『名城大学技術士会』連絡先

【事務局】 名城大学理工学部事務室
【連絡事務所】
〒446-0059
名古屋市中区和区福江2丁目
9番33号NABI・白金2F
(株)アイエスシー内(担当：瀧瀬正彦)

平成19年度 決算書(案)

平成19年度8月1日～平成20年7月31日

【収入の部】		(単位:円)
費目	決算額	
前年度繰越金	2,375,927	
会費(校友会助成金)	5,132,000	
80周年記念予算(積立金より)	0	
80周年記念予算(チケット代)	1,630,573	
担定満期入息	557,607	
雑収入	500,000	
雑利	68	
合計	10,196,175	

【支出の部】

【支出の部】		(単位:円)
費目	決算額	
下部組織助成金	2,400,000	
記念品代1(卒業記念品代)	500,000	
記念品代2(退職教職員記念品代)	170,000	
総会費用	752,025	
80周年記念費用	3,800,000	
広報活動費	0	
通信費	5,160	
会議費	278,489	
委員会費	0	
交通費	15,080	
事務費	28,485	
慶弔費	30,000	
積立金	500,000	
企業セミナー運営費	0	
予備費(次年度繰越)	1,716,936	
合計	10,196,175	

平成20年度 予算書(案)

平成20年度8月1日～平成21年7月31日

【収入の部】		(単位:円)
費目	予算額	
前年度繰越金	1,716,936	
会費(校友会助成金)	4,612,000	
雑収入	0	
合計	6,328,936	

【支出の部】

【支出の部】		(単位:円)
費目	予算額	
下部組織助成金	2,400,000	
記念品代1(卒業記念品代)	500,000	
記念品代2(退職教職員記念品代)	300,000	
総会費用	1,000,000	
広報活動費	700,000	
通信費	30,000	
会議費	250,000	
委員会費	50,000	
交通費	20,000	
事務費	30,000	
慶弔費	150,000	
記念事業積立金	500,000	
企業セミナー運営費	300,000	
予備費(次年度繰越)	98,936	
合計	6,328,936	

特別会計

【収入の部】		(単位:円)
費目	予算額	
名城大学校友会50周年事業費	7,000,000	
合計	7,000,000	

【支出の部】		(単位:円)
費目	予算額	
名城大学校友会50周年事業費	7,000,000	
合計	7,000,000	

平成20年度理工 及び 各科同窓会総会案内

(1) 理工及び各科同窓会総会

各科同窓会総会 平成20年9月28日(日) 10:00~10:50

理工同窓会総会 11:00~11:50

総会会場 ————— 名城大学天白キャンパス共通講義棟南

理工同窓会総会会場 — S101室

各科同窓会総会会場

数学会	— S405室	情報会	— S504室	電気会	— S404室
機械会	— S406室	交通機械会	— S403室	材料会	— S501室
建築同窓会	— S401室	土木会	— S402室	環境会	— S502室

(2) 記念講演会「アンコール遺跡の現状と修復事業」

S101室 12:00 ~ 12:50

講師：名城大学理工学部建築学科教授 溝口明則

19世紀の中頃にフランス人が発見したアンコールの遺跡群は、フランス極東学院 (EFEO) による、およそ1世紀の学術調査と修復工事の歴史を経て今日に至っている。

世界的に注目されている現在のアンコール遺跡とその国際的な修復事業の様相を、日本国政府チームが行ったアンコール・ワット寺院の「経蔵」、バイヨン寺院の「経蔵」、アンコール・トム王宮前広場のプラサート・スープラ塔を対象に講演して頂きます。

(3) 懇親会

タワー75 15階 レセプションホール 13:00~14:30(無料)

理工学部各科同窓会案内

数学会

会長 田中克典
数学会交流会開催
日時：7月予定 場所：未定

情報会

会長 牛田将弘
情報祭の開催
日時：平成20年10月4日(土)
場所：名城大学天白キャンパス
(*詳細はメールマガジン又はWebサイトをご覧ください)

電気会

会長 伊藤 栄
電気会新春懇談会開催
「ミニ講演会：中條渉教授」
日時：平成21年1月17日(土) 17:00~
場所：名古屋ガーデンパレス
会費：8000円受付にて拝受

機械会

会長 渡辺治比古
機械会第8回新春交流会開催
日時：平成21年1月24日(土) 17:00~
会場：名古屋ガーデンパレス
問い合わせメール：watanabeh@shinmei.co.jp

交通機械会

会長 永津圭介
新春賀詞交換会開催
日時：平成21年2月初旬予定 場所：未定
問い合わせメール：http://www.geocities.jp/traffic_ob_meijo_u/

材料会

会長 飯島祐樹
新春懇談会開催
日時：平成21年4月初旬予定 場所：未定

土木会

会長 佐宗健也
情報交換会開催
日時：平成20年11月21日(金) 18:00~
場所：名古屋通信会館

環境会

会長代理 永井 功
環境会年末懇親会開催
日時：平成20年12月予定 場所：未定

建築同窓会

会長 岩崎征一
第14回新春情報交換会開催
日時：平成21年1月16日(金)
場所：アイリス愛知

理工同窓会並びに各科同窓会へのご意見、及び校友会報への投稿原稿等を下記へお送りください。

理工同窓会事務(学内幹事) 交通科学科 中島公平 E-mail:nakasima@ccmfs.meijo-u.ac.jp
建築学科 三浦彩子 E-mail:amiura@ccmfs.meijo-u.ac.jp

理工同窓会 清水正義 E-mail:shimizu@aoi-eng.co.jp